

九度山町



清水希容子

一般財団法人日本経済研究所 地域未来研究センター 研究主幹

九度山町^{くどやまちょう}は人口約4,600人、和歌山県の北東、奈良県との県境に位置する町。南海電鉄の難波駅から約70分と大阪から近い。九度山駅は高野山に向かう途中の山麓にある。

「九度山」の名は、弘法大師が「母を尋ねて月に九度」、高野山を降りて慈尊院を訪ねたことに由来するとされる。母の住居だった慈尊院は、高野山詣の「町石道」^{ちやういしみち}の入口でもある。そこから180基の石塔が並び、参拝者を本堂へと導く。慈尊院と約20kmの町石道、丹生官省符神社^{にうかんしょうぶ}は、2004年、世界遺産に登録された。

昔の面影を残す町石道をゆくと、最初はゆるやかな坂道の先に一面の柿畑が開ける。さらに歩くと険しい山道となり、四方を柿畑に囲まれる。人が立つのもままならない平均斜度30度の畑があり、40度の斜面にも柿の木が植えられている。

南や東に開けた山の斜面は、太陽の光が燦々と枝葉にまんべんなくあたる。標高が高く、時には雲海ができ昼夜の温度差が生じ、水はけがよいため、おいしい果物ができる。

九度山町は、耕作地に占める柿畑の面積割合が64%で全国1位。20位以内に、九度山町に接するかつらぎ町と橋本市、紀美野町、紀の川市（以上、和歌山県）、山向こうの五條市と下市町（奈良県）がある（右表参照）。これらは紀の川（奈良県では吉野川）が流れる九度山町の周辺地域。山の地形に古い地層が走り、土壤が優れる共通点がある。九度山町は、あらゆる果物や野菜が育つが、適地適作が進み、柿の産地となった。

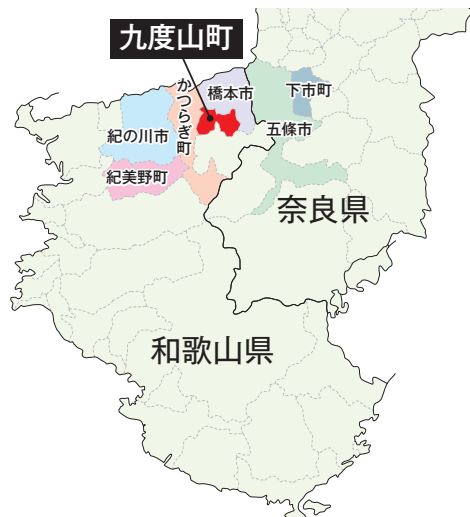
岐阜県の本巣市、福岡県のうきは市の甘柿の産地も、やはり川の流れる内陸の県境地域。一方、同じ

山の斜面にできる果物でも、みかん畑は海に面し、好む斜面のタイプは異なる。

日本で収穫量が多いのは、みかん、りんご、なし、柿と続き、柿は日本人が大好きな果物の一つだ。柿は、みかん、りんごと比べると、果肉の水分量が少なく、酸味がない。香りはないが、いったん口にふくむと、濃厚な甘さとなめらかな食感が広がる。ふっくらとした姿で、ほかの果物にはない味わいと形をしている。なかでも、九度山の富有柿は、日本一甘くておいしいと評判である。

弘法大師や、晩年をこの地で過ごした真田昌幸・幸村も、さぞかしこの甘い柿を堪能したに違いないと思ったが、栽培が始まったのは明治時代後半と意外と遅い。先人たちは、急斜面の作業に苦勞すると知ったうえで、柿の苗を植え続けた。九度山町産業振興課主査の西平美幸さんは、「斜面に脚立をたてての摘蕾や収穫は危険を伴いますが、農家さんは愛情をこめてつくっています。」と語る。

恵まれた自然環境と、先人から受け継いだ心意気が、町の宝である。



町のあり様について、由布院温泉の中谷健太郎氏は語りました。

小さいから、身近に暖かい関係が生まれる。
 小さいから、個性的な価値を生み出せる。
 小さいから、大きな資本を必要としない。



柿 産 地

耕作地に占める柿畑の面積割合 (%)	年間収穫量 (百トン)
①九度山町 和歌山 64	①五條市 奈良 210
②五條市 奈良 47	②かつらぎ町 和歌山 156
③かつらぎ町 和歌山 40	③紀の川市 和歌山 131
④橋本市 和歌山 39	④橋本市 和歌山 114
⑤下市町 奈良 34	⑤佐渡市 新潟 69
⑥本巢市 岐阜 23	⑥豊橋市 愛知 62
⑦うきは市 福岡 22	⑦本巢市 岐阜 61
⑧紀美野町 和歌山 21	⑧鶴岡市 山形 61
⑨大野町 岐阜 21	⑨伊達市 宮城 59
⑩北方町 岐阜 14	⑩朝倉市 福岡 55
⑪朝倉市 福岡 13	⑪うきは市 福岡 53
⑫内子町 愛媛 13	⑫九度山町 和歌山 52
⑬紀の川市 和歌山 12	⑬飯田市 長野 38
⑭瑞穂市 岐阜 12	⑭大野町 岐阜 32
⑮豊丘村 長野 11	⑮新潟市 新潟 28
⑯国見町 福島 10	⑯紀美野町 和歌山 28
⑰府中町 広島 10	⑰西条市 愛媛 25
⑱直島町 香川 9	⑱下市町 奈良 24
⑲伊達市 宮城 9	⑲岐阜市 岐阜 24
⑳喬木村 長野 8	⑳久留米市 福岡 23

* 耕作地に占める柿畑の割合：柿の結果樹面積／耕地面積

結果樹面積：農家が当該年産の収穫を意図して結果させた栽培面積。

耕地面積：農作物の栽培を目的とする土地のことをいい、けい畔を含む

(資料) 農林水産省「耕地および作付面積統計」「果樹生産出荷統計」(2006年)



急斜面の柿畑